

キングダム・フェロシップ・チャーチ

<http://kingdomfellowship.webnode.jp>

週 報

2013.05.12

いのちの躍動感 イザヤ 40 : 31

信仰の歩みにおいて諸々の問題に直面する度、主（の御業あるいは解決）を待ち望むこととなりますが、その究極は贖いの完成をもたらすことになる再臨です。そこに希望を持ち続けること（特に意識したとき）は、信仰者に既に与えられているキリストの命に活力と躍動感をもたせてくれます。ですから私たちがいのちを流そうとするところにも当然それ等が付随しています。しかし、世に在ることがつらい、希望が持てない（クリスチャンにとっては当然）といった理由で携挙を願うのは刹那的であり、不健全です。流す以上はパウロのように大使の役を担うべきです。大げさと思われる方がいらっしゃると思われませんが、キリスト者には大使として必要不可欠な「大胆さ」――自由裁量権が与えられているのです。そこにはもちろん大使自身のその人'らしさ'が含まれています。大使としての働きに先に述べた活力と躍動感がまみえるところに活ける神の臨在（栄光）が現れることでしょう。

ところで信仰者が持っている「大胆さ」と主の前にへりくだることは相反するものではありません。むしろ積極的に共存そています。キリストのゆえに「大胆に」神に近づくことのできる自由を意味しているのであり、心砕かれてへりくだった人とともに住まわれる主だからです。

イザヤ 40:31、57:15、エペ 6:10-20、Iテサ 2:18、イザヤ 11:1-5、使 28 : 20、ロマ 15:12、マタイ 24:3-4、25-28、黙 11:1-11

◇ KFCの主日サーヴィス ◇

●午前の部●

10 : 00 - 12 : 00

バイブルスタディー

●午後の部●

2 : 00 - 4 : 15

日本語セレブレーション

◇ ご連絡事項 ◇

1. 本年のキーワードは"真理の柱また土台(1テモテ 3:15)"です。主はしっかりとした基礎の上に、エクレシアを建て上げられます。
2. 私たちは皆祭司であり、預言者であり、主は一人ひとりを通して語られます。主が直接語られた御言葉を一人ひとりが受け止め、エクレシアに発信できますように。
3. 4月会計報告(仮) 収入：61,100 円、支出：151,175 円、現金残：522,926 円

◇ 祈りの課題 ◇

■ KFC のために

- ・ 終末に生きる者として、キリストと共に生きることを求めましょう。
- ・ エクレシアの器官としての仕事を各々が気づき、愛を通して活動できますように。
- ・ 家族の救いと回復がなされ、また和解がなされますように。
- ・ KFC メンバーと家族の健康、生活が支えられ、癒し、祝福が豊かにありますように。
- ・ 各ローカル・フェロシップや諸々の奉仕・働きの油塗られ、祝福されますように。

■ 日本や世界のために

- ・ 中東の混乱に対して、特にイスラエルのために。
- ・ 終末に向かっての世界の混乱に対して、救いの道が示されるように。
- ・ 日本の霊的状態のために。
- ・ 青少年の霊的健全さのために。
- ・ 地震や津波などの天災での被害者のために。

連絡先： kingdomfellowship@excite.co.jp、TEL.045-315-0373 (教会専用)

住所： 横浜市神奈川区二ツ谷町10-1 二ツ谷ビル3F

